

医療連携につきましては、日頃よりご協力いただき、誠にありがとうございます

▷ 第16回 和GO懇話会

令和2年9月24日（木）ホテルキャッスル山形で、「第16回和GO懇話会」を開催しました。新型コロナウイルス感染予防対策のため、参加者の皆様には消毒及びマスク着用のご協力をお願いし、会場内では座席間隔の確保と換気を徹底しての開催となりました。関係医療機関の先生方にご参集いただき盛大に開催されましたことに、厚く御礼申し上げます。

基調講演

『心不全合併の糖尿病治療について』

演者：糖尿病内科部長 岡村 将史 医師（写真左）

座長：循環器科医長 南幅 修 医師（写真右）



糖尿病治療の目標は、罹患していない人と同等の生活の質を維持することです。そのためには持続血糖モニタリングを活用し、日々の血糖確認を行うことが重要ですが、現在はスマートフォンと連動できるタイプも存在し、より血糖変動の確認がしやすい環境が整えられています。2型糖尿病患者は高齢になると心不全合併率が増加します。尿から糖を排出させる治療薬（フォシーガ）を用いてコントロールを行い、心不全の改善に繋がった当院の症例を挙げお話ししました。

特別講演

『心不全パンデミックに対するアプローチ』

演者：山形大学医学部 内科学第一講座 教授

渡辺 昌文 先生（写真左）

座長：循環器科部長 須藤 直行 医師（写真右）



左室収縮能で心不全をHFrEFとHFpEFに分類し、それぞれの治療方法についてご講演いただきました。心不全の患者は高齢者に多く、医療費高騰の原因となっています。現状として、高齢者医療費は循環器系疾患が約20パーセントを占めています。高齢者心不全への対応として、患者数の増加には医療システムの構築が必要となります。山形大学医学部附属病院では脳卒中と循環器病克服5ヶ年計画を打ち出し実践しており、今後地域での連携が重要となることをお話ししました。

今後も地域医療の発展のため、先生方の御要望をお聞きしながら尚一層の努力を重ねて参ります。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

